

# スクツピーだより

平成27年 初春号

【調布市子ども発達センターニュース】

〒182-0032 調布市西町290-49

TEL/042-486-1190 E-mail/ ayumi@w2.city.chofu.tokyo.jp



## 保護者勉強会 & 市民講演会を行いました

### 7/3 “子育ては力を抜いて 力を合わせて”

子育てというと、我が子をどう育てるべきか！と力が入りがちです。

子育てをどうぞ自分「だけ」で頑張らないでくださいね、という講師からの応援メッセージに元気をもらえたお話でした。



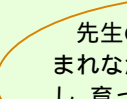
参加した  
保護者の感想

子どもに関わる時のポイントが、聞けて良かったです。頑張り過ぎない子育てをしていきたいと思います。

### 10/31 “子どものために必要なこと 家族のために必要なこと”

昨年まで“きょうだい支援”についてお話いただいたいた、講師に“家族”をテーマにお話しいただきました。

日々なかなか振り返らないけれど、子どもの成長にとって大切な家族の役割や、家族に必要な支援等についてお話していただきました。



参加した  
保護者の感想

先生の軽快なトークに引き込まれながら、家族が安心して生活し、育っていく家庭にしていきたいと思いました。

### 12/2 子ども発達センター主催 市民講演会

#### “これで納得！子どもの「困った」行動Q&A”

講師には、NHK ラジオ「子どもと教育電話相談」のアドバイザーを長年務めていらっしゃる講師をお招きしました。

講演会後半では、参加者から寄せられた子育てに関する多くの質問に、丁寧にお答えいただきました。

### 1/30 “子どもの育ちにより添うこと ~子どもの感情の育ちとその対応~”

昨年と同じテーマを今回は第2弾として、“子どもの感情の育ち”についてお話しをしていただきました。そして育てる親側の感情についても交えながら、具体例と解説があり分かりやすいお話でした。

講演後、日常にありそうな事例について、参加された方で組分けをして、グループトークも行いました。



参加した  
保護者の感想

自分の子育てを振り返る良い機会になりました。今日から、笑顔でゆっくりとやっていこうと思います。

◆来年度も、勉強会・講演会を企画しています。  
お子さんの保育もありますので、お気軽にご参加ください。

# 今日から始める，家族のための防災

2011年3月11日に起きた東日本大震災から間もなく4年になります。  
あの日のことは，私たちの中に，今も大きな爪跡を残しています。

報道によると，今後30年の間に関東地方で大きな地震が起こる可能性が高いとの発表があるなど，危機管理が問われています。

災害は，いつどのように起きるかは予測できません。  
いざという時に備えて，

「今日からは始める，家族のための防災」を，ご家族で避難時の対応を考えたり，備蓄品などを準備することから始めてみませんか？

## ～子ども発達センター利用中に地震が起きたら？～

震度5弱以上の地震が発生したらすべての事業を中止します。

### 親子で来館中の場合

職員の避難指示誘導に従ってください。

### お子さんの単独来館の場合

保護者の方が，お迎えにいらっしゃるまで職員と待機しています。

まず保護者の方自身の身の安全を確保して，お子さんを迎えにいらしてください。

子ども発達センターでは飲料水，アルファ米ご飯，ビスケット，粉ミルクなどの備蓄食品や毛布・簡易トイレを用意しています。



### 問い合わせについて

災害時には，電話や連絡が取り難い状況になります。館内の状況については【災害用伝言ダイヤル171】または【調布市ホームページ・ツイッター】で情報発信しますので，ご確認ください。

災害用伝言ダイヤルの詳細は子ども発達センター利用開始時にお配りしている，【利用の手引き】または【災害時用 ポケットガイド】をご覧ください。

### 館内以外の避難場所

館内が安全でないと判断した場合，次の避難場所へ移動します。【地震発生時】

第1次 子ども発達センター南側駐車場又は北側駐輪場

( 建物の被害状況により判断します )

第2次 調布基地跡地運動広場及び大沢総合グラウンド一部

( 調布市広域避難場所 )



## ～ご家庭の備えは大丈夫ですか？～

ご家庭での非常時に備えてのご用意はいかがでしょう。

家庭では、ご家族の状況に合わせて食材や家庭用品を備蓄し、災害時も普段と同じように食べることができる準備をしておく、体力の維持やストレスの軽減にもつながります。最低3日分、できれば1週間分を買い置きするように心がけましょう。

家屋の倒壊・ライフラインの断絶により避難所に行く可能性も考えられます。避難所では、大勢の人の中で数日を過ごす場合もあります。

安心して過ごすためにも、お子さんのお気に入りの物、例えば玩具、絵本、タオルや服などすぐに持ち出せるように心がけておく、とよいでしょう。

では、何を用意しておくといいのかな？・・・迷われてしまう方は、調布市ホームページ <http://www.city.cyofu> を参照してみてもいいでしょう。

トップページにあります「いざという時のために」を検索してみてください。

「防災情報」から、大地震、水害、火災時などにおける市内の避難所や、家庭での備えについてわかりやすく見ることができます。



この機会に、お子さんの成長に合わせて、備蓄品の見直しなどしてみませんか？  
日頃の備えが、いざという時の安心につながります！



## ご存知ですか？

### 巡回バスは「らいおんマーク」が目印です☆☆



ステーションを市内4箇所（たづくり、飛田給駅北口他）に設定し、1日10便を運行しています。「らいおんバス」の愛称で親しまれています。

らいおんマークを目印に、ご利用ください。

#### お願い

- ◆バスをお待ちの際は、安全にご注意ください。
- ◆バスが見えたら、手を挙げてお知らせください。
- ◆交通事情により、バスが遅れることがありますので、ご了承ください。



# お知らせ

## ❁ 保育所等訪問支援事業のご案内

保育所や幼稚園等を現在ご利用のお子さんが、集団の中で、より過ごしやすくなるための専門的な支援を必要とする場合に、子ども発達センターの職員が在籍園を訪問し、相談、助言を行います。

児童福祉法に位置付けられた制度です。障害者手帳、診断をお持ちのお子さんが対象です。前年度の所得に応じた保護者負担があります。

利用の流れやご不明な点など、まずは子ども発達センター（電話：486-1190）にお問い合わせください。

## ❁ 緊急時等一時養護事業の登録更新のご案内

3年ごとに登録の更新が必要です。有効期限は「緊急時等一時養護事業登録カード」に記載されていますので、ご確認ください。有効期限の3ヵ月前から更新手続きを受け付けています。

平成24年に登録した方は、今回更新となります。

緊急時等一時養護事業にて、来所時に巡回バスの一部の便で停留所からお子さんをお預かりできます。

## ❁ 就学相談説明会

子ども発達センターでは、教育相談所で実施している“就学相談”や“調布の特別支援教育”などについて保護者の方に理解を深めていただくことを目的として、**就学相談説明会**を開催しています。

来年度も今年度と同じく5月の開催を予定しております。詳細は、決まり次第館内掲示や“お知らせ”でご案内いたしますのでご確認ください。

## ❁ 小1同窓会

昨年9月12日に小学1年生の保護者を対象とした小1同窓会を開催し、12名（うち先輩保護者4名）の方にご参加いただきました。

来年度も開催を予定しております。詳細が決まりましたら、ホームページ等でお知らせしますのでご確認ください。

## 編集後記

平成26年度最後のスクッピーだよりとなりました。お読みいただきありがとうございました。これからもどうぞよろしく願いいたします。

